部課別掲載事業一覧

部名称	担当課名称	事業番号	事業名称	頁
生涯学習部	生涯学習課	092501	若者施策推進事業	1
		092532	社会教育団体補助	3
		092534	文化振興一般事務	5
		092535	文化振興基金運用事業	7
		092536	はたちのつどい	9
		092539	青少年対策管理事務	11
		092540	青少年団体補助事業	13
		092542	人権教育推進事業	15
		092546	市民文化祭	17
		092547	放課後子ども教室推進事業	19
		092548	生涯学習推進事業	21
		092549	子ども・若者支援事業	23
		092601	社会体育管理事務	25
		092603	スポーツ指導普及事業	27
		092604	市民スポーツ活動推進事業	29
		093502	きらめき創造館管理運営事業	31
		093521	野外活動振興事業	33
		093531	すばるホール管理運営事業	35
		093532	市民会館管理運営事業	37
		093604	スポーツ施設管理運営事業	39
		093605	市民プール管理運営事業	41
		094503	すばるホール整備事業	43
		094504	市民会館整備事業	45
		094601	体育施設整備事業	47
	文化財課	092511	文化財管理事業	49
		092512	埋蔵文化財調査事業	51
		092513	寺内町保存事業	53
		092514	歴史資料保存活用事業	55
		093536	文化財施設管理事業	57
		094512	寺内町整備事業	59
		094514	文化財施設整備事業	61
	公民館	092551	公民館運営審議会事務	63
		092553	金剛公民館事業	65
		092554	東公民館事業	67
		093503	中央公民館事業	69
	中央図書館	092561	中央図書館事業	71
		092562	図書館資料整備事業	73
		092565	ブックスタート事業	75
	金剛図書館	093506	金剛図書館事業	77

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092501	事業名称	若者施策推進事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 青少年対策費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 若者施策推進事業

事業目的	
	次代を担う若者が地域活動の担い手として成長し、まちづくりに積極的に参画することを目的とする。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	1,632	1,646		
	決算	1,345			

事業概要	
	若者会議の開催を通して、若者が市政に興味を持ち、地域社会の未来を考えることで、地域活動における主体となる人材として育成することで、まちづくりへの積極的な参画を促進する。 また、若者会議からの提案施策について、積極的な市政反映に努める。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	若者会議からの延べ提案施策数	➡	単位【 件 】 予定	8	12	16	20
			実績	9			
			(令和8年度目標値 ➡ 24 件)				
成果指標2		➡	単位【 】 予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	若者会議の延べ参画者数	➡	単位【 人 】 予定	40	60	80	100
			実績	50			
活動指標2		➡	単位【 】 予定				
			実績				
活動指標3		➡	単位【 】 予定				
			実績				
活動指標4		➡	単位【 】 予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	富田林市若者条例に規定される若者会議の運営は、本市における少子高齢化や人口減少、コミュニティ意識の希薄化等に起因する、地域活動の担い手不足等により、若者が地域の課題解決やまちの魅力創出に抽選するなど、地域人材としての活躍が求められていることから、必需性は極めて高い。

新たな財源の検討	
	×:検討していない
	特になし。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(法的課題)
	若者会議は条例に定める付属機関であり、会議開催伴う事務等を外部に委託することは出来ない。

受益者負担の適正さ	
	ー:該当しない
	受益者負担の考え方には適さない事業。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	令和5年度から、提案した施策について相違がないかを委員に確認してもらうため、調整会議を新たに設置した。 昨年度と違い、開催スケジュールを固定せず、市内の高校や近隣の大学の学年暦を参考に日程を決定したところ、参加率を8割程度まで増加させることができたので、来年度の会議運営も、同様に近隣校の学年暦に合わせたスケジュールで会議運営を行いたいと考えている。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	令和6年度も引き続き会議の運営を行う。 開催回数についても、前年度と同様に要望する。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092532	事業名称	社会教育団体補助

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 社会教育総務費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 社会教育団体補助

事業目的	
	市内の社会教育団体活動の推進を図る。

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	811	811		
	決算	585			

事業概要	
	市内の社会教育団体の健全な発展を図るとともに、教育の振興と児童・青少年の福祉の増進に協力し、教育環境の向上に努める。 会員の資質向上を目的としたPTA連絡協議会への委託的事業(PTA教室)の実施に伴う補助を行う。

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市内の社会教育団体活動の実施回数	単位【回】	予定	70	70	70	70
			実績	11			
			(令和8年度目標値 ➡ 70 回)				
成果指標2		単位【】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	市内の社会教育団体への補助団体数	単位【団体】	予定	2	2	2	2
			実績	2			
活動指標2	市内の社会教育団体への補助金額	単位【千円】	予定	811	811	811	811
			実績	585			
活動指標3		単位【】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	教育の振興及び青少年の教育環境の向上のため、PTA活動を含む社会教育活動は不可欠である。

新たな財源の検討	
	○:得られるものはない
	得られる財源はない。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(効率・効果的課題)
	補助金事業のため、委託できない。

受益者負担の適正さ	
	ー:該当しない
	補助金事業の為、受益者負担はなじまない。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	新型コロナウイルス感染症により、R3年度・4年度の補助金支出は減少しているが、R3年度よりは、4年度の方がコロナ禍においても活動を工夫しながら実施しており、補助金支出は増えている。コロナ禍において、青少年にも大きな影響が出ており、教育の振興及び青少年の教育環境の向上のためには、PTA活動を含む社会教育活動は不可欠であることから、団体にはwithコロナにおける活動を工夫して実施してもらえるよう助言等を行うとともに、活動を下支えしていきたい。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	コロナ禍において、事業活動が縮小せざるを得ず、補助金支出は、R3年度・4年度と予算額を下回っているが、活動を工夫しながら、事業を継続しており、コロナ禍において影響を受けた青少年の教育環境を支えていくためにも、R5年度と同様の金額で予算要望を行っていきたい。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092534	事業名称	文化振興一般事務

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 文化振興費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 文化振興一般事務

事業目的	
	文化振興の方向性を示し、市民憲章に示す、教育文化都市「とんだばやし」の発展を目指すことを目的として「文化芸術振興ビジョン」を制定する。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	4,800	246		
	決算	312			

事業概要	
	富田林市の文化振興に関する事務を実施。文化振興の方向性を示し、市民憲章に示す、教育文化都市「とんだばやし」の発展を目指すことを目的として「文化芸術振興ビジョン」を制定する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	文化芸術振興ビジョンの完成	単位【 】	予定	1	1	1	1
			実績	0			
			(令和8年度目標値 ➡ 1)				
成果指標2	文化芸術振興ビジョンに基づく文化芸術振興施策の実現	単位【 】	予定	0	1	3	3
			実績	0			
			(令和8年度目標値 ➡ 3)				
活動指標1	文化芸術振興ビジョン策定委員会の開催回数	単位【 回 】	予定	4	2	2	2
			実績	4			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	
	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	文化芸術基本法により、地方公共団体は、文化芸術振興計画(本市における文化芸術振興ビジョン)の策定に努めなければならないとされている。

新たな財源の検討	
	○:得られるものはない
	法律により努力義務規定とされており、策定及び委員会等開催にかかる助成制度はない。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	文化芸術振興ビジョン策定にあたり、策定業務の委託を行った。今後の委員会運営に関しては事務局で行う。

受益者負担の適正さ	
	ー:該当しない
	地方公共団体が策定に努めなければならないとされているもので、受益者負担の考えにはなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	令和5年6月に今後10年間の文化芸術振興の方向性を定める計画を策定した。文化芸術ビジョンに示す方針に基づき、市民文化の活性化に向けて、今後の文化芸術振興施策を実施していく。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	令和5年6月に策定した文化芸術振興ビジョンに示す本市の文化芸術振興にかかる方針に基づき、文化芸術振興に伴う予算を要望する。また、策定委員会に代わり、方針に沿った施策が実施されるよう年2回の委員会を開催するための予算を要望する。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092535	事業名称	文化振興基金運用事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 文化振興費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 文化振興基金運用事業

事業目的	
	文化振興基金を活用し、さまざまな文化事業に助成金を交付することで、市民文化の振興を図る。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	630	630		
	決算	622			

事業概要	
	市内で活動する文化団体が結成の節目(10周年等)に、文化の振興に著しく寄与する事業を行ったり、文化振興のために特に意義がある事業を行うときや、市又は市教育委員会と協働して行う事業に対して、事業費のうち対象経費の2分の1以内で20万円を上限として助成金を交付。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	事業参加者数	単位【人】	予定	1,850	1,850	1,850	1,850
			実績	535			
			(令和8年度目標値 ➡ 1,850 人)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	助成した事業件数	単位【団体】	予定	4	4	4	4
			実績	5			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	例年、多くの事業について申請があり、市民による自主的な文化活動を支えるものとして、必需性が高い。

新たな財源の検討	
	×:検討していない
	文化振興基金を活用した助成事業であり、事業費の全額を基金取崩金と利息でまかなっている。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(効率・効果的課題)
	申請された内容を審査委員会で審査し、助成金を支給する業務であり、委託は困難。

受益者負担の適正さ	
	ー:該当しない
	文化振興基金を活用した助成事業であり、受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	例年、多くの申請があり、市民の自主的な文化活動を促進させるものとして広く認知されている。コロナ禍で制限されていた活動も再開されてきており、予算の範囲内で申請分の助成金をまかなえなくなっている。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	コロナ禍により、文化活動が制限されていた期間が長くあったが、今後は多くの文化活動が実施されるようになる見込みのため、予算については増額して要望したいと考える。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092536	事業名称	はたちのつどい

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 青少年対策費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) はたちのつどい

事業目的	
	20歳を迎えた青年を祝福し、大人としての自覚を持つ機会を提供することを目的に開催。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	4,224	4,512		
	決算	4,079			

事業概要	
	成人の日にすばるホールにて式典を実施する。新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で式典を開催するほか、交流会・市長と語ろう会を開催する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	新成人の出席率	単位【 % 】	予定	72	72	72	72
			実績	66			
			(令和8年度目標値 ➡ 72 %)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	はたちのつどいの案内はがき送付枚数	単位【 枚 】	予定	1,350	1,350	1,350	1,350
			実績	1,192			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	20歳を祝う行事として定着しており、必要である。

新たな財源の検討	
	○:得られるものはない
	新たな財源の獲得は困難。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(効率・効果的課題)
	長年、市直営で開催していることもあり、地区ごとにお祝いする機運や組織が醸成していないため、現実的でない。

受益者負担の適正さ	
	ー:該当しない
	受益者負担はなじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	コロナ禍においても、感染症対策の実施や式典開催時間を短縮する等により、クラスター発生などの感染拡大をすることなく式典を開催出来た。 ただし、式典開催後に式典参加者以外の者による、会場敷地内侵入や長時間の居座り行為などが課題となっていることから、近隣住民や交通の妨げにならないよう式典を開催する。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	ポストコロナにおいては、社会情勢を見極めながら、短時間開催に囚われず、参加者に喜んでもらえる式典となるよう努める。 また、安心して式典に参加いただけるよう、会場内の警備に努める。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092539	事業名称	青少年対策管理事務

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 青少年対策費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 青少年対策管理事務

事業目的	
	青少年の健全育成を図るため、青少年指導員活動を支援する。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	1,909	1,911		
	決算	1,489			

事業概要	
	青少年指導員活動経費を負担。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	青少年事業の参加者数	➡	単位【 人 】	予定	3,100	3,100	3,100	3,100
				実績	269			
				(令和8年度目標値 ➡ 3,100 人)				
成果指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
				(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	青少年指導員数	➡	単位【 人 】	予定	48	48	48	48
				実績	43			
活動指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	単位【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	青少年指導員は、非行防止活動や青少年健全育成のための事業の実施に取り組むほか、地域住民が行う活動への協力や参加により地域に貢献しており、必要な人材である。

新たな財源の検討	×:検討していない
	新たな財源の取得は困難。

事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	委託できる事業は、青少年指導員連絡協議会へ委託済。

受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	受益者負担はなじまない。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	青少年指導員連絡協議会は、新型コロナウイルス感染症により、活動が困難となっていた。 青少年の健全育成のために、新型コロナウイルス感染症禍において、どんな活動ができるかを検討していく必要がある。 なお、青少年指導員は、改正地方公務員法の施行（2020年4月1日）により特別職（公務員）の位置付けができなくなったため、有償ボランティアとなった。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	青少年指導員は、非行防止活動や青少年健全育成のための事業の実施に取り組むほか、地域住民が行う活動への協力や参加により地域に貢献しており、必要な人材であるため、引き続き事業を継続していく。 ただし現在の活動について、実施が難しくなってきている事業もあるので今後の活動について、見直しが必要である。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092540	事業名称	青少年団体補助事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 青少年対策費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 青少年団体補助事業

事業目的	
	市こども会育成連絡協議会の活動やボーイスカウト・ガールスカウトの活動を支援することにより、児童の健全な育成を図る。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	521	521		
	決算	512			

事業概要	
	市こども会育成連絡協議会、ボーイスカウト・ガールスカウトに対する補助金の交付事務。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市こども会育成連絡協議会加入者数	➡	単位【 人 】 予定	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績	482			
			(令和8年度目標値 ➡ 1,200 人)				
成果指標2		➡	単位【 】 予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	市こども会育成連絡協議会活動実施回数	➡	単位【 回 】 予定	11	11	11	11
			実績	10			
活動指標2		➡	単位【 】 予定				
			実績				
活動指標3		➡	単位【 】 予定				
			実績				
活動指標4		➡	単位【 】 予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	総合ビジョンにおいて、未来の担い手の育成として、市こ連との連携が掲げられており、地域のこども会が少子化の影響で減少する中で、市こ連の活動は欠かせない。

新たな財源の検討	
	○:得られるものはない
	国や府の補助金制度がなく、受益者負担により団体が事業を行っているため、新たな財源確保は困難。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(効率・効果的課題)
	補助金の交付にかかる事務であり、委託できない。

受益者負担の適正さ	
	○:適正である
	団体が、参加費や分担金を徴収して事業を運営している。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	市こ連の活動は、こどもの健全育成に貢献する内容であるが、少子化等により、加入者等の増加は難しい状況であり、令和2年度には、市こ連の補助事業の精査を行い、補助金の減額を行った。 単位こども会・加入者の減少、また市こども会育成連絡協議会の指導者の高齢化が進展し、後進の育成が課題である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	未来の担い手を育成するために、団体の活動は欠かせないため、今後も補助事業を維持していきたい。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092542	事業名称	人権教育推進事業

施策体系	(分野別施策2) みんなで支え合う健やかで心豊かな暮らしづくり ▶ (3) 多様性の尊重による共生社会の形成 ▶
	(個別施策13) 人権の尊重と平和の希求

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 人権教育費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 人権教育推進事業

事業目的	文字を学びコミュニケーション力をつけることにより、社会参加や地域参加の機会を広げ、市民の生きる喜び豊かな暮らしを実現する識字・日本語学級を開催

事業費(単位:千円)		(現年) 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	553	553		
	決算	389			

事業概要	人権文化センターにおいて、地域の有償ボランティア等の指導のもと、受講者のニーズにあわせた週2回の定期的な識字教室を開催

■実施(DO)

				(現年) 令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	識字教室参加人数	➡	単位【人】	予定	420	420	420	420
				実績	214			
				(令和8年度目標値 ➡ 430 人)				
成果指標2		➡	単位【】	予定				
				実績				
				(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	識字教室開催回数	➡	単位【回】	予定	85	85	85	85
				実績	87			
活動指標2		➡	単位【】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	単位【】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	単位【】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性) 識字は、憲法で保障する健康で文化的な最低限度の生活を営む上で必要な知識であり、教育機会がなかった方々に対する識字習得の機会の提供や、これからの外国人との共生社会における日本語教育など、事業について必需性が高い
事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題) 人権文化センターの事業として、長年直営で実施してきた経過や、講師も地域の方が中心による市民協働が定着しており、ほかの自治体においても直営事業が多い。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある 識字に関する国庫補助制度はあるが、体制づくりに関する補助制度であり、現在の取組内容では対象とならない。対象とするためには、取組を拡大して実施しなければならないため、現時点では困難。
受益者負担の適正さ	ー:該当しない 対象者は、高齢者又は外国人が多く、低所得者が多いと見込まれるため、受益者負担は困難。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	識字習得の機会の提供、外国人に対して日本語学習の機会提供など、今後も必要な事業である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	識字問題は、国が抱える社会問題・人権問題として捉える必要があることから、日常生活に困るという問題に直結する市民がいる限り、継続していかなければならない事業である。現状を継続して予算要望を行っていきたい。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092546	事業名称	市民文化祭

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶
	(個別施策20) 人が集まる機会の創出

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民文化祭

事業目的	「富田林市市民文化祭」の開催により、市民文化の振興を図る。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	800	800		
	決算	800			

事業概要	「富田林市市民文化祭」の開催を文化団体協議会に委託する経費を負担。

■実施(DO)

		単位		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民文化祭参加者・入場者数	【 人 】	予定	8,200	8,400	8,600	8,800
			実績	6,080			
			(令和8年度目標値 ➡ 9,000 人)				
成果指標2		【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	市民文化祭参加団体数	【 団体 】	予定	13	13	13	13
			実績	13			
活動指標2		【 】	予定				
			実績				
活動指標3		【 】	予定				
			実績				
活動指標4		【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	市民文化の振興を図るため、富田林市民文化祭の開催は必要不可欠である。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)
	委託事業ではなく、補助金事業として位置付けている。

新たな財源の検討	×:検討していない
	市民団体の展示や発表の場であり、多くの市民が参加しやすく、芸術に触れられるよう、利用入場料等の徴収にじまない。
受益者負担の適正さ	×:検討していない
	市民団体の展示や発表の場であり、多くの市民が参加しやすく、芸術に触れられるよう、利用入場料等の徴収にじまない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	文化活動についても、コロナ禍による制約が徐々にはずれ、市民文化祭も一部感染対策の工夫を講じながら開催できた。参加者、人数はコロナ禍以前よりは少ないが、文化活動に関する意欲は依然高いことから、今後においても市民文化祭の開催を通じて、さらなる市民文化の振興を図っていきたいと考えている。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市民文化の向上のため、引き続き、委託的、奨励的事業補助金の交付が適切と考える。

令和 5 年度 事業評価シート（予算要望 附属資料）

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092547	事業名称	放課後子ども教室推進事業

施策体系	（分野別施策1）未来への希望を育む子育て・教育	▶ （1）親と子を支える子育て環境づくり ▶
	（個別施策2）子ども・子育て支援の充実	

予算科目	（款） 教育費
	（項） 社会教育費
	（目） 青少年対策費

事業種別	（大事業） 教育費
	（中事業） 社会教育経常事業
	（小事業） 放課後子ども教室推進事業

事業目的	放課後において、学校の余裕教室等を活用して全ての子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験・交流活動の機会を定期的・継続的に提供する放課後等の支援活動を行う。

（現年）

事業費（単位：千円）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	4,744	4,701		
	決算	1,199			

事業概要	市内16小学校の学校施設を利用し、各校区で協力頂く地域のボランティア指導員の方々と調整しながら活動プログラムを企画・立案し、放課後や週末等にスポーツや文化活動、交流活動等を実施するほか、地域ボランティア指導員を対象とした指導者講習会を実施する。また各小学校で放課後に実施している学習支援事業に大学生ボランティアを講師として派遣している。

■実施（DO）

（現年）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	放課後子ども教室参加児童数	単位【 人 】 予定	12,000	12,000	12,000	12,000
		実績	3,724			
		（令和8年度目標値 ➡ 12,000 人）				
成果指標2		単位【 】 予定				
		実績				
		（令和8年度目標値 ➡ ）				
活動指標1	放課後子ども教室指導員参加者	単位【 人 】 予定	2,200	2,200	2,200	2,200
		実績	510			
活動指標2		単位【 】 予定				
		実績				
活動指標3		単位【 】 予定				
		実績				
活動指標4		単位【 】 予定				
		実績				

■評価（CHECK）

事業の必需性	○：事業全体について必需性が高い（利用実績等）
	小学生の放課後の居場所づくりの事業であり、必需性は高い。
事業の委託可能性	○：委託できる
	地域ボランティアによるコミュニティづくりという趣旨を理解し、現在の事業を継続できる事業者があれば委託は可能。

新たな財源の検討	○：得られるものはない
	大阪府の補助事業として実施している。
受益者負担の適正さ	ー：該当しない
	対象者が小学生であり、放課後の居場所づくりとして実施する事業のため受益者負担にはなじまない

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、従来から実施している工作活動やスポーツ活動については、全学期の教室を中止した。また、学習の遅れが懸念されている中で、放課後子ども教室の枠組みを利用して、教員を目指す大学生ボランティアを募集し、小学生対象の学習支援事業を8校で実施した。令和5年度は9校実施で進めている。 なお、工作教室は、指導員に高齢な方が多く、指導員に対するリスクも考慮した上で実施できていない。今後も慎重な対応が求められることに変わりはない。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	学習支援事業について、令和2年11月より実施しており、学校と協力しながら、実施数を増やしていきたいと考えており、大学生ボランティアの確保に努めていきたい。 予算については、学習支援を拡充する要望を行っていきたい。

令和 5 年度 事業評価シート（予算要望 附属資料）

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092548	事業名称	生涯学習推進事業

施策体系	
	（分野別施策1）未来への希望を育む子育て・教育 ▶ （3）学び続けるための環境づくり ▶
	（個別施策5）生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	（款） 教育費
	（項） 社会教育費
	（目） 社会教育総務費

事業種別	
	（大事業） 教育費
	（中事業） 社会教育経常事業
	（小事業） 生涯学習推進事業

事業目的	
	市民の学ぶきっかけや学び直しとなる事業を実施し、本市生涯学習の推進を図る。

事業費（単位：千円）		令和4年度	令和5年度（現年）	令和6年度	令和7年度
	当初予算	5,169	5,197		
	決算	5,122			

事業概要	
	市民の知的好奇心を高め、将来の夢や目標を抱くきっかけとなる生涯学習事業を実施する。

■実施（DO）

				令和4年度	令和5年度（現年）	令和6年度	令和7年度
成果指標1	きらめき創造館利用者数	単位【 人 】	予定	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績	38,554			
			（令和8年度目標値 ➡ 25,000 人）				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			（令和8年度目標値 ➡ ）				
活動指標1	生涯学習推進業務講座等回数	単位【 回 】	予定	30	30	30	30
			実績	12			
活動指標2	生涯学習推進業務講座等参加者数	単位【 人 】	予定	500	500	500	500
			実績	309			
活動指標3		単位【 0 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 0 】	予定				
			実績				

■評価（CHECK）

事業の必需性	○：事業全体について必需性が高い（利用実績等）
	生涯学習推進講座「富田林きらめき大学」は、参加者数も増加しており、各講座については多くの申込者があり、大変好評である。
事業の委託可能性	×：委託できない（できる範囲は委託済）
	生涯学習推進業務として委託済みである。

新たな財源の検討	○：得られるものはない
	生涯学習推進にかかる国・府等の補助制度はない。
受益者負担の適正さ	○：適正である
	市民に広く生涯学習講座を受けていただくことを目的としており、基本無料としているが、必要に応じて入場料等受益者負担を徴収している。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	地域課題の解決に向けてどういった講座が必要で、市民の学習ニーズがどう変化しているか等、現状を的確に分析し、委託事業者とも協力しながらより効果的な事業実施となるよう常に検討を続けていく必要がある。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	生涯学習推進プランにおいて、『「学びつづけるひと・まち富田林」をめざし、本市生涯学習施策に取り組みます。』としていることから、引き続き生涯学習推進に向けて継続して予算を要望していきたい。

令和 5 年度 事業評価シート（予算要望 附属資料）

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092549	事業名称	子ども･若者支援事業

施策体系	（分野別施策1）未来への希望を育む子育て･教育 ▶ （2）未来の担い手を育む教育 ▶
	（個別施策4）未来の担い手の育成

予算科目	
	（款） 教育費
	（項） 社会教育費
	（目） 社会教育総務費

事業種別	
	（大事業） 教育費
	（中事業） 社会教育経常事業
	（小事業） 子ども･若者支援事業

事業目的	未来の担い手である子ども･若者の育成、支援

（現年）

事業費（単位：千円）		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	7,515	7,367		
	決算	7,243			

事業概要	子ども･若者育成支援推進法に基づくひきこもり本人や家族等への支援、及びきらめき創造館Topicにおける若者への相談や学習支援など子ども･若者育成支援業務を実施する。

■実施（DO）

（現年）

		単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	きらめき創造館利用者数	【 人 】	予定	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績	38,554			
			（令和8年度目標値 ➡ 25,000 人）				
成果指標2		【 0 】	予定				
			実績				
			（令和8年度目標値 ➡ 0）				
活動指標1	ひきこもり相談件数	【 件 】	予定	24	24	24	24
			実績	17			
活動指標2	青少年委員会開催（令和3年度末に解散）	【 回 】	予定	0	0	0	0
			実績	0			
活動指標3		【 0 】	予定				
			実績				
活動指標4		【 0 】	予定				
			実績				

■評価（CHECK）

事業の必需性	○：事業全体について必需性が高い（その他）
	子ども･若者育成支援推進法第13条において、若者に関する相談は、市町村が取り組む事務として規定されている。子ども･若者育成支援として、学校にも家庭にも居場所のない若者が増えており、居場所機能が必要。
事業の委託可能性	×：委託できない（できる範囲は委託済）
	子ども･若者育成支援業務として、きらめき創造館の管理･運営について委託済み。また、ひきこもり相談等について、事業者に相談員の派遣を依頼して実施している。

新たな財源の検討	○：得られるものはない
	ひきこもり相談等については、国の生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用して事業を実施している。
受益者負担の適正さ	○：適正である
	子ども･若者育成支援業務については、食糧費等実費は徴収済み。ひきこもり相談については、福祉相談であり、受益者負担はなじまない。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	ひきこもり相談については、令和元年度より、国の生活困窮対策補助金を活用している。ひきこもりに関する痛ましい事件が発生したことにより、令和元年6月以降、相談枠がほぼ埋まるような状況が続いており、令和2年度より金剛連絡所での相談を開始した。相談件数は、基本毎月相談がある状況である。ひきこもり当事者については、相談後の追跡ができていないが、相談事業者の意見交換会から支援につながっていない状況を認識しており、後追いを続けながら、居場所の確保を含めた事業を実施し、ひきこもり支援機関へつなげていく必要がある。なお、令和3年度から当該事業の実施を行っており、引き続き事業を継続していく必要がある。子ども・若者育成支援業務として、ロビースタッフが若者と関わり、相談や学習支援を行うことで、Topicが彼らの居場所となっている。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	ひきこもり相談については、現状の相談枠を継続しながら、NPO等の相談事業者へつなげていくために、ひきこもり当事者が参加できるイベントを開催し、また親の会の立ち上げを支援するなど、居場所づくりに関する事業を引き続き進めていきたい。また、子ども・若者育成支援業務については、若者が集える居場所でありつつ、心の居場所としてオンラインを活用した取り組みを進めるとともに、困りごとに関する相談を含めた若者に寄り添った取り組みを引き続き進めていきたい。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092601

事業名称	社会体育管理事務

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 保健体育総務費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会体育経常事業
	(小事業) 社会体育管理事務

事業目的	スポーツ振興事業を円滑に推進するための庶務及びスポーツ推進委員協議会活動により社会体育の振興普及を図る。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	1,970	4,270		
	決算	1,830			

事業概要	スポーツ推進委員協議会による市民を対象としたスポーツ、レクリエーションなどの活動を実施する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	スポーツ推進委員協議会事業参加者数	➡	単位【 人 】	予定	11,300	11,300	11,300	11,300
				実績	615			
				(令和8年度目標値 ➡ 11,300 人)				
成果指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
				(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	事業実施回数	➡	単位【 回 】	予定	70	70	70	70
				実績	28			
活動指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	単位【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	地域の市民を対象とした事業であり、公益性においても必需性は高い。
事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題)
	市からの委嘱を受けたスポーツ推進委員の協議体による事業であるため、民間事業者等への委託は困難である。

新たな財源の検討	×:検討していない
	事業実施においては、受益者負担とするべきものについてはすでに受益者負担で行っていることから検討していない。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	事業実施に必要な金額を受益者負担としており、適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	スポーツ推進委員による地域の市民を対象とした事業が多く、近年の健康ブームや参加者数からも、市民ニーズがある。活動主体であるスポーツ推進委員において、常時活動できる委員が限られていることから、再委嘱、再任の要件を検討する必要がある。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	スポーツ基本法に基づき、市の委嘱を受けたスポーツ推進委員が地域に根付いた活動を行うための活動費であり、必要である。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092603

事業名称	スポーツ指導普及事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 保健体育総務費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会体育経常事業
	(小事業) スポーツ指導普及事業

事業目的	市民の誰もが参加できる健康・体力づくり及び社会体育指導者の養成に重点をおき、スポーツの振興を図る。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	980	957		
	決算	696			

事業概要	スポーツ推進委員協議会による事業、ジュニアスポーツリーダースクール、体力測定会や各種指導者の派遣などの事業を行う。

■実施(DO)

			単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	ジュニアスポーツリーダー参加者数	➡	【人】	予定	635	635	635	635
				実績	157			
				(令和8年度目標値 ➡ 650 人)				
成果指標2		➡	【 】	予定				
				実績				
				(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	事業実施回数	➡	【回】	予定	10	10	10	10
				実績	10			
活動指標2		➡	【 】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等) ジュニア・スポーツリーダー・スクールを通じて自主性のあるリーダーを養成し、ボランティア意識の向上や、さまざまな経験を積むことで、今後地域の様々な分野で活躍できる人材を育てる。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題) 市の委嘱を受けたスポーツ推進委員で構成された協議会において、事業の企画・立案を行っているため、民間事業者等への外部委託は困難である。

新たな財源の検討	×:検討していない 事業実施においては、受益者負担とするべきものについては、すでに受益者負担で行っていることから検討していない。
受益者負担の適正さ	○:適正である 事業実施に必要な金額を受益者負担としており、適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	子どもの自立を促すカリキュラムに基づく、地域のリーダーとなる子どもを育成する事業であるため、保護者からの期待も高く参加者も継続参加が多くみられることからも、引き続き実施するべきである。 受益者負担で事業を実施していることから、少子化等で参加者数が少なくなると事業実施が困難になる可能性がある。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市の委嘱を受けたスポーツ推進委員で構成された協議会において、事業の企画・立案し、各事業を実施しているが、ジュニアスポーツリーダースクールの新規受講者数、年間の参加者数が減少傾向にあるため、今後参加者数等を増加させ、事業を継続していくための検討が必要であると考える。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	092604

事業名称	市民スポーツ活動推進事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 保健体育総務費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会体育経常事業
	(小事業) 市民スポーツ活動推進事業

事業目的	市民の体力向上を目的として、一人でも多く参加できる事業・大会を開催するとともに、社会体育団体及び指導者の育成を図る。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	5,950	6,720		
	決算	5,632			

事業概要	各種スポーツ団体等に委託するなどにより、市民体育大会、市民スポーツレクリエーション祭、計測チップを導入した市民マラソン大会、大阪府総合体育大会やドリームフェスティバルの開催などの事業を実施する。

■実施(DO)

		単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	スポーツ事業参加者数	【人】	予定	14,500	14,500	14,500	14,500
			実績	10,063			
			(令和8年度目標値 ➡ 14,500 人)				
成果指標2	富田林ドリームフェスティバル来場者数	【人】	予定	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績	1,503			
			(令和8年度目標値 ➡ 3,000 人)				
活動指標1	事業実施回数	【回】	予定	25	25	25	25
			実績	21			
活動指標2		【 】	予定				
			実績				
活動指標3		【 】	予定				
			実績				
活動指標4		【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	各種スポーツ団体とも、活発な活動により、市民に身近にスポーツに親しむ機会をつくり、大会全体では1万人以上の市民が参加するなど、市民のスポーツ活動の推進に対して、大きな役割を担っており、必要性は高いものと考える。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	地域スポーツ活動の活性化を目的とした地方公共団体スポーツ活動助成金等の補助を受けられる可能性はあるが、交付要件等が複雑であり、活用は困難である。

事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	全て各スポーツ団体へ委託している。

受益者負担の適正さ	×:検討していない
	各大会により規模や内容が異なるが、受益者負担については適正である。なお、ドリームフェスティバルはオリックス主催事業であり、入場料はオリックスの収入となる。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	各種スポーツ団体の積極的な活動により、市民がスポーツを身近に楽しむ場が多くあり、また、委託している各スポーツ大会でも一定の参加者がコンスタントに確保できており、市民のスポーツ活動の促進しており、事業自体は充実した内容のものと考える。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	各種スポーツ団体の積極的な活動により、市民がスポーツを身近に楽しむ場が多くあり、また、委託している各スポーツ大会でも一定の参加者がコンスタントに確保できており、市民体育大会を始めとする各種スポーツ・レクレーション事業を推進することで、市民の健康の増進につながることから、次年度以降も取り組みを継続していく。

令和 5 年度 事業評価シート（予算要望 附属資料）

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093502	事業名称	きらめき創造館管理運営事業

施策体系	
	（分野別施策1）未来への希望を育む子育て・教育 ▶ （3）学び続けるための環境づくり ▶
	（個別施策5）生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	（款） 教育費
	（項） 社会教育費
	（目） 社会教育総務費

事業種別	
	（大事業） 教育費
	（中事業） 社会教育施設管理事業
	（小事業） きらめき創造館管理運営事業

事業目的	
	生涯学習施設・富田林市きらめき創造館Topicの管理運営を行う。

事業費（単位：千円）		令和4年度	令和5年度（現年）	令和6年度	令和7年度
	当初予算	18,030	18,755		
	決算	19,056			

事業概要	
	若者の育成拠点及び生涯学習の推進拠点として、きらめき創造館の管理運営を行うとともに、市民が学びつづけることのできる環境づくりを進める。

■実施（DO）

				令和4年度	令和5年度（現年）	令和6年度	令和7年度
成果指標1	きらめき創造館の利用者数	➡	単位【 】 予定	25,000	25,000	25,000	25,000
			実績	38,554			
			（令和8年度目標値 ➡ 25,000）				
成果指標2		➡	単位【 】 予定			3,000	3,000
			実績				
			（令和8年度目標値 ➡ 3,000）				
活動指標1	青少年委員会開催（令和3年度末に青少年委員会は解散）	➡	単位【 回 】 予定	0	0	0	0
			実績	0			
活動指標2	きらめき創造館の開館日数	➡	単位【 】 予定	344	344	344	
			実績	343			
活動指標3		➡	単位【 】 予定				
			実績				
活動指標4		➡	単位【 】 予定				
			実績				

■評価（CHECK）

事業の必需性	○：事業全体について必需性が高い（その他）
	きらめき創造館は、青少年の交流施設として位置づけられており、多くの利用者があることから、維持管理していくために必要な事業である。
事業の委託可能性	×：委託できない（できる範囲は委託済）
	警備や清掃、庁舎管理等委託済み。

新たな財源の検討	○：得られるものはない
	施設使用料を徴収することで財源としている。
受益者負担の適正さ	○：適正である
	施設使用料を徴収し、受益者負担を求めている。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	平成29年9月オープンより、5年以上が経過し、施設や備品の修繕に必要な予算が増大している。また、備品は青少年センターから移設したものも多く、耐用年数が過ぎたものについては更新が必要。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	施設オープンより5年以上が経過し、修繕等に必要な経費が増えてきているため、修繕に必要な予算を増額して要望していく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093521	事業名称	野外活動振興事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育	▶ (2) 未来の担い手を育む教育 ▶
	(個別施策4) 未来の担い手の育成	

予算科目	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 青少年対策費

事業種別	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育施設管理事業
	(小事業) 野外活動振興事業

事業目的	本市青少年に対し、野外活動を通じて、集団生活を体験する中で生活指導等を行い、心身ともに健全な青少年の育成に寄与する。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	547	418		
	決算	189			

事業概要	野外料理教室、キャンプ等の野外活動の実施・指導などを野外活動協会に委託して実施する事業。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	事業参加者数	単位【人】	予定	80	80	80	80
			実績	43			
			(令和8年度目標値 ➡ 80 人)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	キャンプ場利用回数	単位【回】	予定	35	35	0	0
			実績	7			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	△:事業内の一部について必需性が低い
	事業に関して、一般市民の需要があるものもあるが、内容によっては、市民のニーズがなく参加者がほとんど集まらないものもある。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	富田林市野外活動協会にすべて委託している。

新たな財源の検討	○:得られるものはない
	同事業に活用できる補助金等がない。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	参加費等については、適正な金額を徴収している。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	野外活動振興事業では、一般市民に貴重な経験をしてもらえるため、需要はあるものの事業内容によってはほとんど参加者がいないものもある。 そのため、課題として事業内容・広報方法の見直しが考えられる。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市民がなかなか体験できない野外活動の機会を提供する貴重な事業であることから、内容について見直しは必要だが、同額で予算要望を行う。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093531	事業名称	すばるホール管理運営事業

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり	▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶
	(個別施策20) 人が集まる機会の創出	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 文化振興費		(小事業) すばるホール管理運営事業

事業目的	すばるホールの安全快適な管理運営を行うことにより、市民文化の振興を図る。

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	212,715	212,727		
	決算	212,212			

事業概要	市民の多種多様なニーズに応え、市の文化振興に寄与できる様々な事業を実施する。

■実施(DO)

		単位		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	すばるホール施設利用者数	【人】	予定	260,000	260,000	260,000	260,000
			実績	123,278			
			(令和8年度目標値 ➡ 260,000 人)				
成果指標2	すばるホール施設利用率	【%】	予定	65	65	65	65
			実績	54			
			(令和8年度目標値 ➡ 65 %)				
活動指標1	すばるホール開館日数	【日】	予定	310	310	310	310
			実績	311			
活動指標2	すばるホール指定管理料	【千円】	予定	227,734	227,734	227,734	227,734
			実績	209,193			
活動指標3		【 】	予定				
			実績				
活動指標4		【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等) 市民の多種多様な文化ニーズに応え、市の文化振興を向上させるために、必要である。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済) すでに、指定管理者制度を導入している。
新たな財源の検討	×:検討していない 施設の管理運営に関しては、指定管理者制度を導入しているため、基本的には施設における収入は指定管理者の収入となる。
受益者負担の適正さ	○:適正である 利用料金は、適正な金額と考える。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	すばるホールが、文化を創造する拠点として広く市民に利用されるよう、今後も利用者ニーズの積極的な把握に努めるとともに、市民参加型事業を中心とした、多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図ることが重要である。また、令和5年6月に「富田林市文化芸術振興ビジョン」を策定し、3つの柱である「文化芸術を育てる」「文化芸術をつなげる」「文化芸術に触れる」を基本とし、すばるホールの運営を進めていく。さらに、令和5年度途中から市庁舎が仮移転したことによる影響や収入施設の減少、令和6年度から新たな指定管理者を指定することなど、経営環境が大きく変わることによる検証を行い、安定的、継続的な施設の管理運営に資するよう創意工夫が必要である。施設面においては、開館から30年以上経過しており、これまで大規模な改修も行っておらず、設備や備品等の老朽化が相当進んでいる現状であることから、修理等の財政負担が大きくなっている。利用者や庁舎に来る市民の安全や利便性を考慮し、計画的的な修繕や更新等が課題である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	令和6年度から令和10年度までの5年間、新たに指定管理者を指定する予定であり、指定管理者との基本協定に基づき予算要望を行っていく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093532	事業名称	市民会館管理運営事業

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり	▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶
	(個別施策20) 人が集まる機会の創出	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設管理事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民会館管理運営事業

事業目的	市民会館の円滑な運営を行うことにより、市民文化の振興を図る。

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	60,364	60,778		
	決算	61,364			

事業概要	指定管理者への施設の管理運営委託及び市民劇場の開催を行っている。

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民会館施設利用者数	単位【人】	予定	117,000	117,000	117,000	117,000
			実績	78,058			
			(令和8年度目標値 ➡ 117,000 人)				
成果指標2	市民会館施設利用率	単位【%】	予定	70	70	70	70
			実績	68			
			(令和8年度目標値 ➡ 70 %)				
活動指標1	市民会館開館日数	単位【日】	予定	300	300	300	300
			実績	304			
活動指標2	市民会館指定管理料	単位【千円】	予定	54,856	54,856	54,856	54,856
			実績	58,446			
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)	新たな財源の検討	×:検討していない
	市民の多種多様な文化ニーズに応え、市の文化振興を向上させるために必要である。		指定管理者制度を導入しているため、施設における収入は基本的に指定管理者の収入となる。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	○:適正である
	既に指定管理者制度を導入している。		利用料金は適正な金額と考える。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	市民交流の場として、市民会館が広く市民に利用されるよう、今後も利用者ニーズの積極的な把握を進めるとともに、市民参加型事業を中心とした多彩な文化事業の展開や幅広い周知に努め、市民文化の振興を図ることが重要である。また、コロナ禍の影響もあり、経営環境が非常に厳しい状況であるが、安定的、継続的な施設の管理運営のための創意工夫が必要である。会館より、50年近く経過し、老朽化が著しいため、緊急修繕等に必要な予算の増大が見込まれる。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	令和6年度から令和10年度までの5年間の指定管理者の選定を現在行っている。そこで決定した基本協定により予算要望を行う。また、突発修繕にかかる予算については、開館より50年近く経過し、設備や備品等の故障が頻発していることから、増額して要望を行う。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093604	事業名称	スポーツ施設管理運営事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 体育施設費

事業種別	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会体育施設管理事業
	(小事業) スポーツ施設管理運営事業

事業目的	総合スポーツ公園、市民総合体育館、青少年スポーツホール、屋外体育施設等の市立スポーツ施設の管理について指定管理者と協定を締結し、利用者のニーズに沿った管理運営を行う。

(現年)

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	116,703	119,779		
	決算	116,711			

事業概要	市立スポーツ施設において、指定管理者を選定して管理運営を委託し、各種スポーツ教室や講習会などを開催するなど、市民の憩いの場・スポーツの場を提供する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	施設利用者人数	単位【人】	予定	831,615	833,156	834,697	836,238
			実績	588,697			
			(令和8年度目標値 ➡ 837,785 人)				
成果指標2		単位【】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	施設利用件数	単位【件】	予定	35,600	35,600	35,600	35,600
			実績	30,895			
活動指標2		単位【】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	市民の健康・スポーツ志向に対応するとともに、市民の憩いの場・スポーツの場を提供している。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	指定管理者制度を導入している。

新たな財源の検討	○:得られるものはない
	市の公共施設の維持管理にかかる経費のため、新たな財源確保は難しい。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	利用料金は、適正な金額であると考える。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	施設利用率の向上による利用料金の増加が求められる。利用料金収入が増加することに伴い、市への還元が増えことで市が支払する指定管理料の負担軽減が可能となる。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	令和6年度の指定管理料については、基本協定書で定めた年度協定額で予算要望する。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	093605

事業名称	市民プール管理運営事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 体育施設費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会体育経常事業
	(小事業) 市民プール管理運営事業

事業目的	市民プール(アクアパークきらめき)を開放し、市民の健康増進と体力の向上を図る。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	17,594	19,009		
	決算	17,011			

事業概要	小学校の夏休み期間(7月21日～8月31日)にプールを開放するため、指定管理者の選定及び選定された指定管理者との協議・調整などを行う。

■実施(DO)

(現年)

		単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民プール入場者数	【 人 】	予定	27,000	27,000	27,000	27,000
			実績	15,564			
			(令和8年度目標値 ➡ 27,000 人)				
成果指標2		【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	開場日数	【 日 】	予定	42	42	42	42
			実績	42			
活動指標2	緊急修繕件数	【 件 】	予定	1	1	1	1
			実績	0			
活動指標3	緊急修繕金額	【 円 】	予定	600,000	600,000	600,000	600,000
			実績	0			
活動指標4		【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等) 市内複数か所の市民プールを1か所に集約したことから、事業の必要性は高い。年々利用者数が増加している。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済) 指定管理者制度を導入している。

新たな財源の検討	○:得られるものはない 市の公共施設の維持管理にかかる経費のため、新たな財源確保は難しい。
受益者負担の適正さ	△:適正でない 利用料金は、民間も含めた他の施設と比較しても、非常に安価な設定としている。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	市民の利用ニーズが大変高く、今後も継続をしていくべき事業である。課題としては車で来場する利用者が多くあることから、市民プールの近隣でいかに駐車場を確保していくかという点である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 指定管理者との基本協定に基づいた指定管理料と、市と指定管理者との分担による修繕に係る費用の要望が原則であるが、現在の利用率等を鑑みるに、今後も長年にわたって高い市民ニーズが得られる施設であることから、施設の長寿命化を踏まえた予算要望も行っていく。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094503	事業名称	すばるホール整備事業

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶
	(個別施策20) 人が集まる機会の創出

予算科目	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 文化振興費

事業種別	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育施設整備事業
	(小事業) すばるホール整備事業

事業目的	すばるホールが安全で快適に利用できるよう、施設の整備及び機器類の更新を実施。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	75,841	92,861		
	決算	67,520			

事業概要	施設の整備及び機器類の更新を実施。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	老朽化施設の修繕、更新事業であり、成果指標の設定になじまない。	➡	単位【 】	予定			
				実績			
				(令和8年度目標値 ➡)			
成果指標2		➡	単位【 】	予定			
				実績			
				(令和8年度目標値 ➡)			
活動指標1	修理等の件数	➡	単位【 箇所 】	予定	3	3	3	3
				実績	3			
活動指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	単位【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	すばるホールは、開館から30年以上が経過し、施設の老朽化が相当進んでおり、安全、安心な施設運営の観点から、老朽化した施設・設備の修繕・更新は必要不可欠である。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)
	設計業務等、一部に委託可能な業務もあるが、工事の発注や備品購入等については、委託できない。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には補助制度等はないが、整備内容によっては国庫補助や起債対象になるものもあるため、使える財源がないか慎重に検討する必要がある。
受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	利用者、来場、来庁者の安全確保と施設の長寿命化、コンプライアンス順守の観点から、老朽化している施設の修繕、更新は必要不可欠である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	利用者、来場、来庁者の安全確保と施設の長寿命化、コンプライアンス順守の観点から、老朽化している施設の修繕、更新を計画的に行っていく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094504	事業名称	市民会館整備事業

施策体系	(分野別施策3) 魅力のあふれるまちのにぎわいづくり ▶ (2) 多くの人が訪れるにぎわいの創出 ▶
	(個別施策20) 人が集まる機会の創出

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化振興費		(小事業) 市民会館整備事業

事業目的	市民会館が安全で快適に利用できるよう、施設の整備及び機器類の更新を実施。

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	5,900	8,613		
	決算	7,245			

事業概要	老朽化した施設の修繕、更新を行う。

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度 (現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	老朽化施設の修繕、更新事業であり、成果指標の設定になじまない。	単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	修理等の件数	単位【 箇所 】	予定	3	3	3	4
			実績	4			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	市民会館は、開館から50年近く経過し、施設が老朽化しているため、安全・安心な施設運営の観点から、設備や備品の更新、修繕が必要不可欠である。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)
	設計業務等、一部に委託可能な業務もあるが、工事の発注や備品の購入等については委託できない。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には補助制度はない。整備内容によっては国庫補助や起債対象となる場合もあるため、使える財源がないか慎重に検討が必要である。
受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	利用者の安全確保と施設の長寿命化のため、老朽化した設備・備品の修繕、更新が必要不可欠である。設備については、設置から50年近く経過し、部品等がなく、修繕対応ができない。近年では、空調設備の故障が多発しており、ガスから電気への空調システムへ入替えが行われている。また、公共施設でありながらトイレの洋式化を含むバリアフリー化が不十分であるため、設備の更新が必要である。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	利用者の安全確保を最優先とし、施設の長寿命化のため、老朽化した箇所の修繕・更新を行っていく。また、バリアフリーを考慮した更新にも努めていく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月14日
部署名	生涯学習部 生涯学習課
評価者	坂本 篤史

■対象事業

事業番号	094601

事業名称	体育施設整備事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策6) 市民文化・スポーツの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 保健体育費
	(目) 体育施設費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 体育施設投資事業
	(小事業) 体育施設整備事業

事業目的	安全かつ、より充実した体育施設を市民に利用していただき、スポーツに親しむ機会を提供する。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	92,855	59,860		
	決算	86,831			

事業概要	市民総合体育館、青少年スポーツホール、総合スポーツ公園、屋外体育施設等を市民ニーズに沿った安全かつ、より充実した施設に整備・改修する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	体育施設利用人数	単位【人】	予定	980,000	980,000	980,000	980,000
			実績	680,966			
			(令和8年度目標値 ➡ 人)				
成果指標2		単位【】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	体育施設利用件数	単位【件】	予定	35,000	35,000	35,000	35,000
			実績	30,895			
活動指標2		単位【】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	市民総合体育館、総合スポーツ公園をはじめとしたスポーツ施設について、市民が安全かつ快適に利用できる状態を保つとともに、市民の積極的なスポーツ活動、生涯学習活動を支える場としての整備が必須であり、事業の必需性が高いものと考える。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	市の公共施設の整備にかかる費用であり、基本的には市単費となるが、整備内容によっては自治総合センターによる助成や国庫補助の対象となる場合もあり、その他助成制度も含め、新たな財源について慎重に検討する必要がある。

事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)
	設計業務等、一部は委託可能なものもあるが、工事の発注や物品の購入等については委託できない。

受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	いずれの施設も老朽化により、様々な不具合が発生しているが、施設利用者の安全を第一とした更新計画を立てて改修を実施しており、利用者の生命身体の安全を確保するとともに、市民のスポーツ活動を後押しする場の整備という点において、今後も継続が必需な事業であると評価している。他方で、今現在稼働している設備の中で更新時期が過ぎている設備がいくつも発生しており、また、各施設においても快適な利用に支障をきたす状態になっている箇所が多く発生するなどしており、施設の長寿命化をいかに図るかとともに、各施設の在り方について検討を行っていく必要があるものと考える。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 令和5年度においては、利用ニーズが低い施設を廃止(青少年教育キャンプ場、彼方ゲートボール場)しているが、その他施設においても様々な不具合が発生している現状を踏まえると、屋外グラウンドも含め、全てのスポーツ施設をまんべんなく整備することは困難が伴うものと思われる。今後においては、施設の統廃合も見据えた上で、より利用ニーズが高い施設の改修・長寿命化のための予算要望を行っていく方向性で検討をしている。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	092511

事業名称	文化財管理事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 文化財保護費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 文化財管理事業

事業目的	市内の文化財等について維持管理及び指導等を行うことにより、歴史的資源の保全を図る。

(現年)

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	12,245	5,995		
	決算	10,153			

事業概要	市内の文化財等の維持管理業務(除草・剪定、看板修繕等)、指定文化財所有者等への指導、指定文化財に関する事務、文化財保護審議会の開催等。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市指定文化財件数(累積)	単位【件】	予定	4	4	5	6
			実績	4			
			(令和8年度目標値 ➡ 5 件)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	市内文化財他修繕等箇所(年間) ※寺内町エリアを除く	単位【箇所】	予定	2	2	2	2
			実績	1			
活動指標2	文化財保護審議会開催回数(年間)	単位【回】	予定	2	2	2	2
			実績	0			
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	・市内の歴史的資源である文化財を保全するためには、欠かすことができないものである。 ・文化財保護法第3条及び市文化財保護条例に基づく市の責務である。

新たな財源の検討	×:検討していない
	文化財説明看板等の修繕費用について、観光施策に係る補助金を得られる可能性があるが、現段階ではその交付要件に適合するものがない。

事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題)
	除草や樹木剪定などを委託している。

受益者負担の適正さ	○:適正である
	市文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財修理等にかかる補助を行っている。市補助率(補助限度額)については、近隣自治体と比して適正であると考える。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	・文化財保護審議会を定期的に開催し、市文化財行政について指導を仰ぐ。また市内の文化財の保護・活用を見据え、市指定文化財の認定を　検討する。 ・劣化した文化財説明看板の修繕を計画的に実施していく。 ・文化財保存活用地域計画策定を進め、協議会等を開催し、令和6年度の文化庁の認定を目指す。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	①文化財等の適正な維持管理 ・市が管理する文化財において、市民が快適に見学できる環境を維持し、近隣住民の生活環境の低下を招かないように、適切な時期に除草、樹木の伐採・剪定を実施していく。 ・市内の文化財説明看板の修繕を計画的に実施していく。 ②令和6年度に文化庁の認定を目標として、文化財保存活用地域計画の策定を進める。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	092512	事業名称	埋蔵文化財調査事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり	▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 埋蔵文化財調査事業

事業目的	開発等により破壊される可能性のある埋蔵文化財を発掘調査し、記録保存する。又、国指定史跡である新堂廃寺跡等を整備する。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	9,968	9,706		
	決算	8,463			

事業概要	文化財保護法に基づく発掘届出の受付事務(通知を含む)、富田林市開発指導要綱に基づく指導・協議、立会・事前・試掘・本調査業務、国指定史跡新堂廃寺跡整備事業等。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	埋蔵文化財調査実施件数	単位【件】	予定	5	5	5	5
			実績	4			
			(令和8年度目標値 ➡ 5 件)				
成果指標2	新堂廃寺跡等整備事業については、事業の進捗率で成果を測ることができるが、現段階では全体像が確定していないため、数値化できない。	単位【】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	文化財保護法第93条届出及び第94条通知件数(年間)	単位【件】	予定	168	168	168	168
			実績	151			
活動指標2	試掘調査件数(年間)	単位【件】	予定	25	25	25	25
			実績	19			
活動指標3	新堂廃寺跡等整備委員会開催回数(年間)	単位【回】	予定	2	2	2	2
			実績	0			
活動指標4		単位【】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)	新たな財源の検討	○:得られるものはない
	法定事務であり、欠かすことの出来ないものである。		法定事務であり、一部は国庫補助事業として補助金を得ている。これ以上の財源は見込めない。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)	受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	現在も発掘調査の掘削業務を委託しているが、他の業務についても一部委託を進めることにより、業務の省力化・効率化が図れると考えられる。		個人住宅に関しては法定事務であり、該当しない。開発事業に関しては、原因者負担を求めている。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	埋蔵文化財の発掘調査業務とは、発掘調査を行い、出土遺物の整理作業や保存処理を経て、報告書を刊行するまでの一連の業務である。市内で開発行為が行われる際に発生する業務であるため予定を立てることは難しく、発掘現場が重複すれば、他の業務が後回しになる。一連の業務を確実に遂行するため、業務の一部を委託するなど、業務の効率化に向けて見直しを図る必要がある。また、国指定史跡新堂廃寺跡については、市が管理団体になったため、史跡の維持・安全管理を実施するとともに、新堂廃寺跡等保存活用計画の策定に向けて、新堂廃寺跡等整備委員会を開催していく。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	①文化財保護法に基づき埋蔵文化財を保護を目的とする埋蔵文化財発掘調査業務を推進し、発掘調査成果の記録保存に係る一連の業務遂行に努める。 ②新堂廃寺跡等整備委員会の開催し史跡新堂廃寺等保存活用計画策定計画の策定を進め、同時に他市の整備事例を研究しつつ(全国史跡整備市町村協議会会議に出席)史跡整備に係る問題解決に努める。また市民に対し、当該史跡に関する普及啓発を進める。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	092513	事業名称	寺内町保存事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 寺内町保存事業

事業目的	富田林寺内町の歴史的町並みの保存を推進し、地元組織や関連団体と連携しながら、町全体の活性化を図る。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	6,978	10,087		
	決算	6,321			

事業概要	富田林寺内町内の景観照明灯や公園の維持管理をはじめ町並み保存に係る業務、寺内町の活性化に向けた普及啓発事業、伝統的建造物群保存審議会の開催等。

■実施(DO)

			単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館来館者数)※年間	➡	【人】	予定	37,000	37,500	37,500	38,000
				実績	19,128			
				(令和8年度目標値 ➡ 38,000 人)				
成果指標2	重要伝統的建造物群保存地区の面積(国選定)	➡	【ha】	予定	13	13	13	13
				実績	13			
				(令和8年度目標値 ➡ 13 ha)				
活動指標1	伝統的建造物群保存審議会開催回数(年間)	➡	【回】	予定	3	3	3	3
				実績	1			
活動指標2	富田林寺内町4施設でのイベント開催回数(年間)	➡	【回】	予定	24	24	24	24
				実績	37			
活動指標3		➡	【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)	新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	富田林市伝統的建造物群保存地区保存条例に基づき寺内町保存事業を行っている。富田林寺内町の歴史的町並み保存を推進するためには、欠かすことの出来ない事業である。		歴史的町並み保存を推進する目的で普及啓発事業を実施する場合、内容によっては、補助金を得られる可能性がある。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)	受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	景観照明灯補修業務や除草業務など、既に委託できる範囲は委託している。		国民共有の財産である国選定重要伝統的建造物群保存地区「富田林寺内町」を後世へ確実に継承するための事業であり、自治体が行うべき事業である。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	歴史的町並みや古民家に注目が集まる反面、富田林寺内町への来訪者数はコロナ禍以前から減少傾向にあるとともに、地区内では高齢化や空き家問題、大型町家の老朽化･取り壊し、文化財保存に対する住民意識の低下、建物維持費の負担など、様々な問題が発生している。これまでの現状維持という考え方では歴史的町並みが消滅する可能性がある事から、歴史的町並みの保存と活性化に向けて、より効果的な取り組みが必要である。 旧杉山家住宅や旧田中家住宅等の所管施設について、利用者の快適な利用のため適切に修繕を行っていく。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価･改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	地元組織や関連団体と連携しながら、富田林寺内町の歴史的町並み保存を推進し、町全体の活性化を図る。 ①富田林寺内町の町並み保存に係る業務･富田林寺内町の町並み保存のため、町内の生活環境の維持に努めるほか、建築意匠等の資料保存を図り、図面作成のための環境を整える。準防火地域である伝建地区の歴史的街並みや景観を保全するため、地区内の建築許可基準に基づき建築行為をする建物について、建物から20m以内に2号消火栓の設置が必要となったため(「富田林伝統的建造物郡保存地区保存条例の制限の緩和に関する条例」平成30.10.1改正)、必要に応じて、2号消火栓設置費用を予算計上していく。 ②寺内町活性化事業 行政視察等の寺内町案内及び文化財課管理施設やじないまち散策絵図を活用し、普及啓発を行う。 ③地元組織他との協働事業･連携･協力し、国の重要文化財興正寺別院修理事業着工に向けた取り組みや、大型町家等の利活用及び空き家対策事業の推進を図っていく。 ④寺内町内にある景観照明灯の内、57wの電球の製造が終わったことから今後電球切れによる補修ができなくなるため、計画的(令和6年度までの3カ年)に景観照明灯のLED化を進めていくための予算を計上していく。 ⑤富田林寺内町の保存地区は木造建築が密集しているため、火災に対して脆弱である。また、壁量が十分でないものや、壁の配置に偏りがあるものなど、耐震性能を十分に満たしていないものもあるため、それぞれの建造物の耐震性能を的確に把握し、文化財的な特徴に配慮しつつ、適切な耐震補強を講じる事が求められる。このため、保存地区の個別課題を整理しつつ、総合的な防災対策･体制の充実と強化を図るため、防災計画を策定していく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	092514	事業名称	歴史資料保存活用事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり	▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 歴史資料保存活用事業

事業目的	市民の文化財保護意識を高めるため、埋蔵文化財や古文書、民俗資料等の歴史資料の整理・保存及び活用を図り、文化財の普及啓発に努める。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	19,439	5,185		
	決算	18,985			

事業概要	埋蔵文化財センターの管理・運営、歴史資料の整理・保存、歴史資料を活用した展示・講演会等の普及啓発事業等。

■実施(DO)

			単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	講演会(出前講座含む)参加者数(年間) ※ただし、寺内町関連テーマを除く	➡	【 人 】	予定	450	450	450	450
				実績	96			
				(令和8年度目標値 ➡			450 人	)
成果指標2	文化財課ウェブサイト閲覧数	➡	【 人 】	予定	32,000	32,000	32,000	32,000
				実績	56,610			
				(令和8年度目標値 ➡			32,000 人	)
活動指標1	展示・講演会(出前講座含む)等の開催回数(年間) ※ただし、寺内町関連テーマを除く	➡	【 回 】	予定	8	8	8	8
				実績	3			
活動指標2	市広報連載サロン掲載件数	➡	【 回 】	予定	2	2	2	2
				実績	3			
活動指標3		➡	【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)	新たな財源の検討	×:検討していない
	市内の貴重な歴史的資源である文化財を次世へ継承していくためには、市民の文化財保護意識を高めることは必須であると考えており、欠かすことの出来ない事業である。		現在のところ、補助金交付要件に適合する事業対象がない。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)	受益者負担の適正さ	△:適正でない
	埋蔵文化財センターにおいて事業運営をしているわけではなく、発掘調査の整理作業場、遺物の収蔵庫として使用しているため、委託の可能性はない。		講演会やワークショップ等を実施する際、受講者へ配布する資料や材料費用について、受益者負担を検討していく。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	富田林の文化財を学べるデジタルアーカイブのコンテンツ充実を図っていく。 また、当課が保管している古文書や民具、遺物などの歴史資料の保存環境を改善し、適正管理に向けて取り組む必要がある。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	①歴史資料の整理保存と活用 ・腐食が進む鉄器類や木製品の保存処理を実施し、保存環境を改善する。 ・古文書や民具等の歴史資料の整理保存を継続して進めるとともに、市指定文化財の記録保存と活用を図る。 ・引き続き、富田林の文化財を学べるデジタルアーカイブや文化財課ウェブサイトのコンテンツ充実を図っていくとともに、市内の公共・民間施設を活用した巡回展を実施し、市内の文化財の魅力に触れる機会を増やしていく。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	093536

事業名称	文化財施設管理事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 文化財保護費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育施設管理事業
	(小事業) 文化財施設管理事業

事業目的	富田林寺内町や周辺に位置する文化財施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場、旧田中家住宅)の特色を最大限に生かしながら一体的に維持管理、運営することで、多くの人で賑わい、交流が生まれる機会を創出する。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	35,590	37,013		
	決算	35,138			

事業概要	富田林寺内町4施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場)は指定管理制度により指定管理者が管理運営を行い、また、登録有形文化財旧田中家住宅は、文化財課が直営で管理運営を行っている。 市民の文化的活動の場として、施設の一般公開及び貸出しを行っている。また、様々なイベントを開催し、文化財の活用を図っている。

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館来館者数)	単位【人】	予定	37,000	37,500	37,500	38,000
			実績	19,128			
			(令和8年度目標値 ➡ 38,000 人)				
成果指標2	旧杉山家住宅の入館者数	単位【人】	予定	11,900	11,900	12,000	12,000
			実績	8,752			
			(令和8年度目標値 ➡ 12,100 人)				
活動指標1	富田林寺内町4施設でのイベント開催回数(年間)	単位【回】	予定	24	24	24	24
			実績	37			
活動指標2		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標3		単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(その他)
	伝統的建造物群保存地区内の歴史的町並み保全を図るためには、欠かすことの出来ない事業である。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	指定管理者制度を導入しており、できる範囲は委託済みである。

新たな財源の検討	○:得られるものはない
	令和2年度より富田林寺内町内に位置する4施設一括で指定管理者制度を導入し、それを機に部屋貸出しを有料化している。その他の財源は見込めない。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	貸館の利用料金については、他施設を参考に設定し、条例で規定しているため適正である。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	富田林寺内町4施設は一括での指定管理者制度を導入しており、指定事業による歴史文化の講演や賑わいづくりイベントの開催を行うことで富田林寺内町の普及啓発を図ることが出来た。コロナ禍により来訪者数は減少したが、令和4年度はやや回復している。引き続き、SNS等で効果的な情報発信に努める。 旧田中家住宅は、公開施設であり、施設の貸し出しを実施している。施設利用者の安全や快適性の確保が必須であるため、改修が必要な箇所については適切に行っていく。 寺内町施設の今後の管理運営については庁内部会等に諮りながら検討していく。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	①富田林寺内町4施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場)の管理運営 ・令和5年度より、第2期目の指定管理者による5ヶ年の管理運営を行っている。指定管理者による民間のノウハウを活かした事業や普及啓発を積極的に行い、より効果的な運営をしていく。 ②登録有形文化財旧田中家住宅及び寺内町施設・資料倉庫の管理運営業務 ・施設を適切に維持管理し、運営していく。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	094512	事業名称	寺内町整備事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり ▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 寺内町整備事業

事業目的	伝統的建造物群保存地区内における伝統的建造物の修理及び一般建造物の修景の補助を行うことによって、歴史的町並みを保全していく。

(現年)

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	20,091	17,593		
	決算	16,790			

事業概要	伝統的建造物群保存地区内の建築物等の修理・新築・改築等における現状変更行為に関する受付及び許可、並びに、内容相談及び技術指導。※令和元年度より「街なみ環境整備事業」を含めて事業を一本化

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	富田林寺内町への来訪者数(じないまち交流館への入館者数)	単位【人】	予定	37,000	37,500	37,500	38,000
			実績	19,128			
		(令和8年度目標値 ➡ 38,000 人)					
成果指標2	修理・修景物件の件数	単位【件】	予定	13	13	13	13
			実績	13			
		(令和8年度目標値 ➡ 13 件)					
活動指標1	現状変更の許可件数	単位【件】	予定	16	16	16	16
			実績	17			
活動指標2	伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金交付金額	単位【千円】	予定	30,000	30,000	30,000	30,000
			実績	15,612			
活動指標3	修理・修景施設整備費補助金交付金額	単位【千円】	予定	15,000	15,000	15,000	15,000
			実績	0			
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	伝統的建造物群保存地区内の歴史的町並み保全を図るためには、欠かすことの出来ない事業である。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題)
	一部委託は可能であるため、設計業務及び工事監理については委託する事で、業務の省力化・効率化を図っていく。

新たな財源の検討	○:得られるものはない
	国(文化庁)の随伴補助を受けて実施している事業であり、その他の財源はない。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	伝統的建造物群保存地区保存補助金交付要綱及び街なみ環境整備事業補助金交付要綱に基づき、伝建地区内の伝統的建造物他の修理修景等補助を行っている。国(文化庁・国土交通省)の随伴補助であり、補助率(補助限度額)については、他自治体と比して適正であると考える。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	伝統的建造物群保存地区内では、世帯主の高齢化、空き家問題、伝統的建造物の維持困難、大型町家の老朽化、文化財保存に対する住民意識の低下など様々な問題が発生している。これまでの現状維持という考え方では歴史的町並みが消滅する可能性がある事から、修理修景事業においても、積極的に取り組んでいく必要がある。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 伝統的建造物等の修理修景事業について、待機者が出ないよう速やかに実施し、伝統的建造物などの歴史的な町並み保全を進めることで、富田林寺内町の文化財的価値の向上を図っていく。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 文化財課
評価者	重野 好信

■対象事業

事業番号	094514	事業名称	文化財施設整備事業

施策体系	(分野別施策4) 安全・安心で美しく快適なまちづくり	▶ (3) 環境にやさしく美しい地域づくり ▶
	(個別施策29) 自然・歴史環境の保全	

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育施設整備事業
	(目) 文化財保護費		(小事業) 文化財施設整備事業

事業目的	富田林寺内町や周辺に位置する文化財施設(旧杉山家住宅、寺内町センター、じないまち交流館、じないまち展望広場、旧田中家住宅、寺内町施設、資料倉庫)の施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	5,000	1,771		
	決算	6,356			

事業概要	施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う。

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	施設整備や老朽化した施設の改修、備品購入を行う事業である為、成果指標の設定になじまない。	➡	単位【 】	予定			
				実績			
				(令和8年度目標値 ➡)			
成果指標2		➡	単位【 】	予定			
				実績			
				(令和8年度目標値 ➡)			
活動指標1		➡	単位【 】	予定			
				実績			
活動指標2		➡	単位【 】	予定			
				実績			
活動指標3		➡	単位【 】	予定			
				実績			
活動指標4		➡	単位【 】	予定			
				実績			

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等) 寺内町4施設及び旧田中家住宅等の公開施設においては利用者の安心・安全の確保のため、また、寺内町施設の新たな利活用に取り組むため、事業の必需性は高いと考える。
事業の委託可能性	△:一部は委託可能である(効率・効果的課題) 施設整備に係る設計業務などは、委託可能であると考える。
新たな財源の検討	○:得られるものはない 施設整備の一部に文化庁の補助金交付を受けることは可能であるが、その他の財源はないと考える。
受益者負担の適正さ	○:適正である 貸館の利用料金については、他施設を参考に設定し、条例で規定しているため適正である。

1/2

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	公開施設であるため、利用者の安全や快適性の確保が必須であり、施設改修を適時実施する。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 ①指定管理者による施設管理運営事業 ・公開施設であるため、利用者の安全や快適性の確保が必須であり、施設改修を適時実施する。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月12日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092551	事業名称	公民館運営審議会事務

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶ (個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 公民館費

事業種別	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 公民館運営審議会事務

事業目的	公民館が各種社会教育事業を実施するにあたり、その運営が有効適切に行われることを目的とする

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	111	111		
	決算	82			

事業概要	公民館運営審議会は、館長の諮問機関として、館長からの諮問に対して答申を行うほか、公民館が行う各種事業、及び公民館運営全般について調査・審議を行う。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	館長の諮問機関であるため、成果指標の設定はできない	➡	単位【 】	予定			
				実績			
			【 】	(令和8年度目標値 ➡)			
成果指標2		➡	単位【 】	予定			
				実績			
			【 】	(令和8年度目標値 ➡)			
活動指標1	運営審議会開催回数	➡	単位【 回 】	予定	2	2	2	2
				実績	2			
活動指標2		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標3		➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標4		➡	単位【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(利用実績等)
	利用者や各種社会教育団体、学識経験者等それぞれの立場から公民館事業を審議して、今後の公民館のあり方等を諮問する機関として実用性は高い。
事業の委託可能性	×:委託できない(法的課題)
	館長の諮問機関であるため該当しない。

新たな財源の検討	×:検討していない
	館長の諮問機関であるため該当しない。
受益者負担の適正さ	ー:該当しない
	館長の諮問機関であるため該当しない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	公民館で行う各種事業の報告及び計画だけでなく、公民館が抱えている課題や諸問題について活発な意見が出されるようになってきていますが、現状の2回(事業報告、事業計画)だけでは意見の集約や今後に向けての提言、社会教育方針についての意見・提言が困難なため、研修会等を別途開催するなど検討する必要があります。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。 公民館運営審議会は、館長の諮問機関であり、公民館の課題や諸問題について審議し、今後に向けた公民館のあり方、事業の方向性を提示していただくことを目的とした会議であり、その開催回数等については、ある程度フレキシブルに対応するべきと考えます。

2/2

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月12日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092553	事業名称	金剛公民館事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 公民館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 金剛公民館事業

事業目的	
	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	5,043	4,576		
	決算	4,304			

事業概要	
	金剛公民館主催講座の実施 金剛公民館クラブ連絡会の育成 金剛公民館施設管理業務

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	単位【回】	予定	26	27	27	28
			実績	5			
			(令和8年度目標値 ➡ 28 回)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	単位【人】	予定	1,730	1,730	1,730	1,730
			実績	1,299			
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	単位【回】	予定	94	94	94	94
			実績	48			
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	単位【人】	予定	970	970	970	970
			実績	780			
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	
	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	気軽に集い学べる社会教育施設である公民館事業の維持・発展は、居住の魅力ある地域づくりへと繋がるものであり、今後地域の高齢化や少子化に効率的に対応する資源となりうる事業です。

新たな財源の検討	
	△:得られる可能性がある
	施設利用の一部有料化(空調機使用料等を含む)は、市の財源のプラスとしてよりは社会教育機会の制限と捉えられるなど、市のセールスポイントにマイナスと働くと考えます。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(効率・効果的課題)
	人件費の高騰及び管理部署への職員配置を必要とする指定管理者制度より、現在の会計年度任用職員の導入体制を充実させ、社会教育に関する知識・経験・意欲のある人材登用を積極的に進めるべきと考えます。

受益者負担の適正さ	
	○:適正である
	公民館活動を公益活動へと充実させていく方策を推進するべきであり、画一的な受講料や使用料の徴収は社会教育機会の減少を招く恐れがあります。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	昭和58年開館以来大規模な改修工事を行っておらず、市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を計画的に進める必要があります。地域人口の高齢化に対応したバリアフリー化を進め、地域での子育て環境や高齢者の生きがい増進に寄与する事業の推進、更に地域づくりに積極的に参加する人材の育成を図る事業の推進を行います。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市民が安全・安心して使用できる施設、設備、備品の計画的な改修、更新が必要です。 ①空調機器、机・椅子など設備・備品の改修・更新 ②バリアフリー化（エレベーターの設置、トイレの改修など）

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月12日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	092554	事業名称	東公民館事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 公民館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 東公民館事業

事業目的	
	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	23,952	10,807		
	決算	22,722			

事業概要	
	東公民館主催講座の実施 東公民館クラブ連絡会の育成 東公民館施設管理業務

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	単位【回】	予定	22	22	23	23
			実績	7			
			(令和8年度目標値 ➡ 24 回)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	単位【人】	予定	1,570	1,570	1,570	1,570
			実績	1,013			
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	単位【回】	予定	105	105	105	105
			実績	56			
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	単位【人】	予定	530	530	530	530
			実績	340			
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	市民にとって身近な社会教育施設である公民館で行われる事業は、幅広い年代層が気軽に参加し、学習を通じたコミュニケーション作りに寄与するものであり、市民生活の充実にとって必要不可欠なものです。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)
	有料の事業面では収益を上げるために偏った事業運営になりがちであり、本来公民館の果たす人権や家庭教育など市民ニーズからかけ離れる可能性があります。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	一部講座や駐車場の有料化及び空調運用時の使用料が想定されますが、収入面より施設利用の足かせになる危険性が高いと思われます。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	公民館活動は、活動の成果を広く市民・地域社会に還元する事業であり、活動参加者に負担を求めるべきではないと考えます。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 空調機等施設が老朽化しており、生産が終了している水銀灯からLEDに照明器具を更新する必要があります。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 ①空調機器、ホール照明などの設備、備品の更新が必要です。 ②屋上や外壁の改修、バリアフリー化（エレベーターの設置、トイレの改修など）

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月12日
部署名	生涯学習部 中央公民館
評価者	大前 靖

■対象事業

事業番号	093503	事業名称	中央公民館事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 公民館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育施設管理事業
	(小事業) 中央公民館事業

事業目的	
	市民の多様な学習意欲に対応するために主催講座の質・量などの充実を図るとともに、学習を通じた交流や自主的な学習への支援・援助を行い、活気ある地域社会を構築するための事業を展開する

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	28,349	25,331		
	決算	28,460			

事業概要	
	中央公民館主催講座の実施 中央公民館クラブ連絡会の育成 中央公民館施設管理業務

■実施(DO)

				令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	公民館における市民企画の講座開催回数 (クラブ自主講座・市民企画講座等含む)	単位【回】	予定	26	27	27	28
			実績	20			
			(令和8年度目標値 ➡ 28 回)				
成果指標2		単位【 】	予定				
			実績				
			(令和8年度目標値 ➡)				
活動指標1	主催講座の延べ学習者数	単位【人】	予定	3,550	3,550	3,550	3,550
			実績	2,415			
活動指標2	主催講座の開催延べ回数	単位【回】	予定	225	225	225	225
			実績	170			
活動指標3	クラブ連絡会加盟クラブ員数	単位【人】	予定	950	950	950	950
			実績	755			
活動指標4		単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必要性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	市民にとって身近な社会教育施設である公民館で行われる事業は、幅広い年代層が気軽に参加し、学習を通じたコミュニケーション作りに寄与するものであり、市民生活の充実にとって必要不可欠なものです。
事業の委託可能性	×:委託できない(効率・効果的課題)
	有料の事業面では収益を上げるために偏った事業運営になりがちであり、本来公民館の果たす人権や家庭教育など市民ニーズからかけ離れる可能性があります。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある
	一部講座や駐車場の有料化及び空調運用時の使用料が想定されますが、収入面より施設利用の足かせになる危険性が高いと思われます。
受益者負担の適正さ	○:適正である
	公民館活動は、活動の成果を広く市民・地域社会に還元する事業であり、活動参加者に負担を求めるべきではないと考えます。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 空調機等施設が老朽化し、貸し出しできない状態に陥る可能性があります。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	市民が安全・快適に学べて「いつでも・誰でも」参加できる社会教育活動の場として、環境整備を進める必要があります。 ①空調機器、机、椅子などの設備、備品の更新が必要です。 ②バリアフリー化（エレベーターの設置、トイレの改修など）

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092561	事業名称	中央図書館事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 図書館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 中央図書館事業

事業目的	
	図書館法に基づき、生涯学習の拠点施設として、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に役立つ図書館資料や情報を収集・保存し提供する。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	26,654	34,856		
	決算	26,381			

事業概要	
	市民の生活や活動の支援、生涯学習支援、学校図書館支援、地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信、図書館協議会及び活動団体との連携・協働。また、「富田林市子ども読書活動推進計画」の推進、乳幼児、児童、高齢者、障がい者、外国人の利用者サービスの充実、近隣図書館間の広域相互利用の推進など市民の読書環境の整備に努める。

■実施(DO)

			単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数 (貸出冊数÷人口)	➡	【 冊 】	予定	8	8	8	8
				実績	6			
				(令和8年度目標値 ➡ 8 冊)				
成果指標2	中央図書館貸出数(分室・自動車文庫含む)	➡	【 冊 】	予定	333,945	334,765	335,585	336,405
				実績	252,158			
				(令和8年度目標値 ➡ 337,020 冊)				
活動指標1	新規登録者数	➡	【 人 】	予定	2,084	2,063	2,042	2,021
				実績	1,447			
活動指標2	自動車文庫の巡回ステーション数	➡	【 ヶ所 】	予定	13	13	13	12
				実績	13			
活動指標3	自動車文庫の年間巡回回数	➡	【 回 】	予定	282	279	297	251
				実績	278			
活動指標4	設定なし レファレンス	➡	【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	総合ビジョン及び総合基本計画において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現するための施策として「図書館サービスの充実」を明記。根拠法令:図書館法第10条公共図書館の設置及び運営の望ましい基準(1総則(2)設置の基本)等

新たな財源の検討	
	△:得られる可能性がある
	既に雑誌スポンサー制度を導入しており、新たなスポンサーの確保・拡充に努めている。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	委託可能な業務(図書の装備、自動車文庫等車両運転業務、予約図書等受渡業務)は既に委託済。他部署との連携や市民との協働など委託ではできない業務が多く、経験を要する業務については非効率的。市の方針として図書館は直営での運営とされており、カウンター業務等は、会計年度任用職員を最大限活用している。

受益者負担の適正さ	
	○:適正である
	図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	・新型ウイルス感染拡大の波が周期的に訪れたものの、感染拡大に伴う臨時休館は免れた。しかし、金剛図書館屋根外壁改修工事のため1ヶ月間の臨時休館があり、双方が相まって利用者数・貸出冊数が減少し成果指標などは目標達成におよばなかった。 ・上記工事での休館中は館外で予約図書のお渡しと簡単なレファレンスの対応を行った。 ・第3次富田林市子ども読書活動推進計画を策定し、今後5年間の子どもの読書環境の整備に道筋をつけた。 ・例年開催している行事については、感染状況を鑑み、実施可能なものについてはできるだけ開催をした。 ・中央図書館では、パートタイム会計年度任用職員枠の週12枠を8名が交代で勤務している。日々のカウンター業務に加え遅番体制に整備、東公民館の運営、自動車文庫巡回、レインボーホールへの予約図書の配本等多岐にわたる業務を限られた人数を振り分けて何とか業務を行っているが、各業務に人を配置することに限界がきている。 ・昭和51年開館でこの間、耐震補強工事等も行われてきたが、閲覧室は狭く、書架についても開館依頼更新されておらず、2階の事務室や書庫スペースに蔵書が溢れている。図書資料等の置き場の確保・整備を行いつつ、新たな図書館建設を考えるべきである。 ・大規模災害発生時の避難場所に指定されているが、エレベーターもなく、高齢者・障がい者・乳幼児を連れた方にとって配慮された施設ではない。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	【職員体制】 中央図書館は、正職員4名・会計年度任用職員の非常勤職員4名・短時間非常勤職員1名～3名（登録は8名）で、平日の夜間開館、土日祝日開館、土日火曜の東分室運営、市民会館への予約図書等の受渡業務、自動車文庫巡回など、多種多様な業務を行いつつ、日々のカウンター業務のシフト組んでいることから、シフト管理ができない日が往々としてあり、職員に負担が偏っている。 そのうえ、中央図書館では、利用者に高齢者が多いこともあり、レファレンス対応等に多くの人員が割かれていること、また、「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき、保育園にも自動車文庫の乗り入れを行うなど、今後益々の職員への負担が見込まれることから、適正な人員の確保を要望する。 【図書館システム】 ウインドウズの立ち上げ及び図書館システムの起動にかなりの時間を要し、PCの動作が非常に遅い。図書館システムが常にPCに負荷をかけており、ハードディスクの破損につながっている。前年度より3つのハードディスクが壊れ、交換をおこなったことなどから、図書館システムリプレイスの検討している。 システムリプレイスを行うにあたり、課内に委員会を設け検討を行っており、システムリプレイスと同時に、蔵書管理の強化を行うため、ICチップの導入。また、非来館型の図書館利用の需要も高まるなか、電子書籍の導入もあわせて検討し、図書館のICT化に伴い業務の効率化を図る。 上記について、デジタル田園都市国家構想交付金の活用を検討。 【運転業務委託】 平日の朝夕の中央図書館と金剛図書館間の図書の運搬・連絡便、金剛連絡所や市民会館、東分室、エコール・ロゼの返却ポストの回収、学校図書館へのブック便、学童クラブ配本便の搬出入、自動車文庫つつじ号巡回時の運転や安全確保を富田林市シルバー人材センターに委託している。（土・日・祝日の連絡便や返却ポスト回収は職員が担っている。） 【自動車文庫、幼・保つつじ号】 令和4年度に策定した「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づき令和5年度より、幼稚園への自動車文庫乗り入れに加え保育園への自動車文庫の乗り入れを開始している。しかし、自動車文庫の車両が1台のため、幼・保つつじ号を運行するには、通常の自動車文庫巡回後、車載されている8割の資料の乗せ換えが必要になることから、増車を要望する。 【書架整備】 昭和51年開館より書架の更新をしておらず、個別雑誌架（雑誌が前面に展示でき、前面を跳ね上げることで、バックナンバーが奥に収納できる）や文庫用書架について下記の問題点などから、更新を要望する。 個別雑誌架については、展示部分が小さく、現在の雑誌の大きさに合わないため展示ができていない。また、文庫架については、棚がはずれ落ちている箇所等があるうえ、昨今の文庫本ブームにより、所蔵が増え、ブックトラックでの閲覧提供を余儀なくされている。 書架更新については、森林環境贈与税の活用を検討している。 【災害防止対策】 2階書庫での雨漏りが継続しており、雨漏りを防ぎ建物の長寿命化を図るためには、屋根の防水工事が必要。また、各地で頻発する地震災害、大雨・暴風雨による雨漏りや浸水など自然災害のみならず、コロナ禍などの様々なリスクに対処するため、避難所指定する以上は充分な機能を持たせることは急務である。 【ボランティアとの協働】 図書館活動を支えていただく市民ボランティア（富田林おはなしの会、乳幼児サービスボランティア、朗読ボランティアグループくさぶえ）との協働のため、人材を育成・スキルアップし、確保するための講座開催については継続が必要。 【労働安全衛生】 中央図書館の建物の構造は本来2階に事務室、1階は閲覧室と作業スペースとなっているが、職員が1階閲覧室の状況把握のため、現状は1階の作業スペースが事務スペースとなっている。1階の作業スペースは非常に狭く、窓もないことから事務スペースとしての環境は極めて劣悪である。よって、労働安全衛生面からも適正人員を配置することによる、事務スペースの改善を要望する。 【返却ポスト】 令和4年度に公民館の月曜日及び年末年始の委託業務契約が終了したことに伴い、図書館返却ポストの利用ができなくなった。 しかし、図書館休館日の返却ポスト利用の要望も多くあることから、中央公民館・図書館の正面入り口に防水の可動式返却ポスト設置を検討している。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092562	事業名称	図書館資料整備事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 図書館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育経常事業
	(小事業) 図書館資料整備事業

事業目的	
	図書館法の理念に基づき、生涯学習の拠点施設として、収集方針に基づいた幅広い分野の図書館資料を収集し、整え、あらゆる年代の市民に情報の提供に努める。

(現年)

事業費 (単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	19,140	19,044		
	決算	19,140			

事業概要	
	社会の様々な変化に伴い、高度化、多様化する市民の学習意欲、利用者のニーズに対応するため、収集方針に基づき地域行政資料や様々な分野の資料の収集に努め、学校への支援、広域利用にも対応し、赤ちゃんから高齢者まですべての市民に新鮮で、楽しく、役立つ資料を提供する。

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数 (貸出冊数÷人口)	単位【 冊 】	予定	8	8	8	8
			実績	6			
			(令和8年度目標値 ➡ 8 冊)				
成果指標2	図書館貸出数	単位【 冊 】	予定	814,500	816,500	818,500	820,500
			実績	618,746			
			(令和8年度目標値 ➡ 822,000 冊)				
活動指標1	蔵書数(図書及び視聴覚資料)	単位【 点 】	予定	305,000	305,000	305,000	305,000
			実績	302,728			
活動指標2	新規蔵書数(年度内受入数)	単位【 点 】	予定	11,000	11,000	11,000	10,450
			実績	11,457			
活動指標3	設定なし	単位【 】	予定				
			実績				
活動指標4	設定なし	単位【 】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	
	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)
	総合ビジョン及び総合基本計画において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現する施策として「図書館サービスの充実」を明記。生涯学習推進プランでも、多様な資料の収集提供と市民の読書活動や調べものの支援を行い、読書を通じて市民の様々な学習活動に役立てるため、図書館資料の充実は根幹をなす。

新たな財源の検討	
	△:得られる可能性がある
	利用者からの読了後図書の寄贈を受付ている。

事業の委託可能性	
	×:委託できない(できる範囲は委託済)
	図書等購入費のなかで、資料の装備を委託している。

受益者負担の適正さ	
	○:適正である
	図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	・令和4年度は、一般書8,141冊、児童書2,514冊、視聴覚資料246点、合計10,901点の図書館資料を購入し、あらゆる世代の利用者へ情報提供に努めるとともに、幅広い分野の図書館資料の収集に努めた。今後も社会情勢の変化や市民のニーズを的確にとらえ、利用者の学習意欲に応えながら、本の文字の読みづらい方への大活字本や朗読CD、LLブックの入手・提供に努めたい。 ・令和4年度では、調べ学習に役立つよう、都道府県別の地理データマップを2セット購入し提供している。また、出版から月日がたった今後も読み継がれる良書について、買い替えを行うなど利用と蔵書の両側面により選書を行い、提供に努めている。 ・情報の古くなった資料や汚損・破損により提供できなくなった資料は除籍を行っているが、郷土・行政資料など除籍できない蔵書も年々増えていくため、書庫スペースが不足している。リサイクル可能な除籍本は保育園・幼稚園・学校関係部署、市民会館などに活用いただいている。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	【資料収集方針】 公立図書館の任務は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に資料を提供することであり、この任務を果たすため、「図書館法」ならびに「図書館の自由に関する宣言」の理念に基づき、市民の資料要求を反映させ、市民の文化、教養、調査、研究、趣味及び娯楽等に資する資料を収集する。 ・あらゆる世代の利用者へ情報提供に努めるとともに、読書の機会を公平に提供することが公共図書館の役割であり、社会の変化とともに、幅広い分野の図書館資料の収集に努める。また、昨今の社会状況の変化に伴い、情報のデジタル化が進んでいる。出版物においても、今日急速にデジタル化・ネットワーク化が進んでいることから、電子書籍導入の検討をしている ・高齢者や文字を読みづらい方の利用促進・健康の増進のため、大活字本・朗読CDなどの充実に努める。 ・子ども読書活動を推進するため、あかちゃん絵本や児童書の充実、学校図書館や学童クラブへの配本、調べ学習への支援に役立つ資料の収集に努める。 ・地元でしか収集できない地域資料や行政資料を責任をもって収集・整理・保存し、市民に役立つ情報を提供する。 ・年々資料費が減額されており、反面、資料費は年々単価が上昇いていることから、「本と人を結びつける」ための図書費予算の充実を要望する。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 中央図書館
評価者	山本 一夫

■対象事業

事業番号	092565	事業名称	ブックスタート事業

施策体系	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	(款) 教育費	事業種別	(大事業) 教育費
	(項) 社会教育費		(中事業) 社会教育経常事業
	(目) 図書館費		(小事業) ブックスタート事業

事業目的	「子ども読書活動の推進に関する法律」「富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子どもの読書環境の整備を進めると同時に、乳幼児期の段階から保護者に対する読書啓発を図り、将来の子どもの豊かな心の成長を育む読書習慣につなげることを目的とする。

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
	当初予算	593	590		
	決算	585			

事業概要	子育て支援の一助として、健康づくり推進課と連携し、4か月児健康診断時に乳児に絵本を配布し、同時に保護者に対して、乳幼児との絵本を通したふれあいの大切さと必要性を伝え、図書館の利用案内、フォローアップ事業の「あかちゃんのおはなし会」の紹介をする。待ち時間を利用して、乳幼児ボランティアと協働して親子に絵本のよみきかせを行う。

■実施(DO)

		単位		令和4年度	令和5年度(現年)	令和6年度	令和7年度
成果指標1	0歳児一人当たりの小さい絵本(乳幼児向け)の貸出冊数(小さい絵本の貸出冊数÷0歳児の人口)	【冊】	予定	43	44	45	46
			実績	43			
			(令和8年度目標値 ➡ 47 冊)				
成果指標2	フォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」の参加人数	【人】	予定	722	722	722	722
			実績	288			
			(令和8年度目標値 ➡ 722 人)				
活動指標1	受診対象乳児への絵本の配布率(受診時+受診外配布率)	【%】	予定	100	100	100	100
			実績	87			
活動指標2	配布冊数	【冊】	予定	650	675	668	661
			実績	524			
活動指標3	フォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」の実施回数	【回】	予定	72	72	72	72
			実績	62			
活動指標4	設定なし	【】	予定				
			実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	○:事業全体について必需性が高い(法的必需性) ブックスタート事業は、「第3次富田林市子ども読書活動推進計画」に基づいた子育て支援の一環であり、乳幼児期からの言葉の大切さ、絵本をとおした親子のふれあいが将来的には子どもの読書習慣の確立に繋がることから、4か月児健診という受診率の高い事業と連携することにより充分な効果を得ることができる。
事業の委託可能性	×:委託できない(できる範囲は委託済) ブックスタート事業に協力していただく乳幼児サービスボランティアは、人材育成講座で養成、スキルアップ・確保に努めている。図書館主導の連絡会を通じて事業への理解を深め、ボランティアとの協働で実施している。

新たな財源の検討	△:得られる可能性がある 広告入り無償パンフレットの提供を受けることで印刷製本費の削減に努めている。
受益者負担の適正さ	○:適正である ブックスタート事業は子育て支援の一環として実施する図書館事業の一つである。 図書館法第17条:公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価も徴収してはならない。

■改善事項（ACTION）

事業の評価及び課題	・健康づくり推進課との連携により、受診率の高い4か月児健診の待ち時間に図書館から絵本をプレゼントし、乳幼児期からの絵本を仲立ちとした親子のふれあいの大切さなどを啓発をおこなっている。 ・コロナ禍で健診の待ち時間短縮のため、絵本のプレゼントと図書館の利用啓発が精一杯となっている。 ・コロナ禍により保健センターでの健診を避け、かかりつけの小児科での受診をされる方には、保健センターからの通知文書に図書館での絵本配布も盛り込んでいただいており、直接来館される方もおられる。 ・ブックスタート事業に先がけ、妊娠届を提出され母子健康手帳を交付される際には「もうすぐママになられる方へ」と題した絵本のリーフレットをお渡しし、図書館でのフォローアップ事業「あかちゃんのおはなし会」で0歳児・1歳児・2歳児のグレード別のおはなし会を開催している。コロナ禍での開催のため、通常の人数から半数に制限を設けていたが、前年度比1.25%の参加者増であった。

■予算要望の方向性（PLAN）

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	【事業の継続について】 ブックスタート事業を通じ、子どもの読書活動の推進・子育て支援に繋げるものであり今後も重要な施策と考える。 【配布絵本の選定】 3種類の絵本から1冊を選んでいただき、プレゼントしている。親子で楽しめる絵本で価格・内容から検討しているが、単価は上がっており、良書の選定に努めている。 【配布物の印刷】 ブックスタート用カラーパンフレットは広告入りの無償パンフレットの提供を受けているが、図書館の利用案内・おはなし会等のカレンダー、こども文庫の紹介などの他、市の子育て支援関係の資料も配布している。 【ボランティアとの協働】 コロナ禍の中での開催となって以来、できるだけ人数を絞った状態でのブックスタート事業となったため、乳幼児サービスボランティアは4か月児健診には参加せず、現状としては未だに、図書館で行う「あかちゃんのおはなし会」「おはなし会」での協働のみとなっている。コロナが一定収束した後は、再びボランティアとの協働が再開を考えており、今後も人材育成や人材確保のための講座開催（中央図書館事業）が必須である。

令和 5 年度 事業評価シート(予算要望 附属資料)

作成日	令和5年9月5日
部署名	生涯学習部 金剛図書館
評価者	道旗 秀

■対象事業

事業番号	093506	事業名称	金剛図書館事業

施策体系	
	(分野別施策1) 未来への希望を育む子育て・教育 ▶ (3) 学び続けるための環境づくり ▶
	(個別施策5) 生涯を通じた学びの推進

予算科目	
	(款) 教育費
	(項) 社会教育費
	(目) 図書館費

事業種別	
	(大事業) 教育費
	(中事業) 社会教育施設管理事業
	(小事業) 金剛図書館事業

事業目的	
	図書館法に基づき、生涯学習の基本的施設として図書館資料を収集し、市民に情報を提供する。市民の知る権利を保障し、社会の要求に沿ったサービスを展開することで、市民の幸せに寄与する。

(現年)

事業費(単位:千円)		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	当初予算	28,053	30,567		
	決算	30,245			

事業概要	
	すべての市民が利用しやすい図書館をめざし、読書環境の整備に努め、複合施設の維持管理も担当している。中央図書館のコンピュータシステムと図書購入費を共有・利用して全市的なサービスを行う。①学習支援 ②市民生活と活動の支援 ③地域文化情報・歴史情報の収集・蓄積・発信 ④障がい者サービス ⑤子どもの読書活動支援 〈根拠法令等〉図書館法 子どもの読書活動推進に関する法律 文字・活字文化振興法

■実施(DO)

(現年)

				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果指標1	市民一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷人口)	➡	単位【冊】	予定	8	8	8	8
				実績	6			
				(令和8年度目標値 ➡ 8 冊)				
成果指標2	金剛図書館貸出冊数	➡	単位【冊】	予定	480,555	481,735	482,915	484,095
				実績	366,588			
				(令和8年度目標値 ➡ 484,980 冊)				
活動指標1	新規登録者数	➡	単位【人】	予定	2,084	2,063	2,042	2,021
				実績	1,447			
活動指標2	設定なし	➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標3	設定なし	➡	単位【 】	予定				
				実績				
活動指標4	設定なし	➡	単位【 】	予定				
				実績				

■評価(CHECK)

事業の必需性	**○:事業全体について必需性が高い(法的必需性)**
	「総合ビジョンおよび総合計画」において、市民の生涯を通じた学びの推進を実現するための施策として「図書館サービスの充実」が明記されている。根拠法令:図書館法(第10条)、公共図書館の設置及び運営の望ましい基準(1. 総則(2)設置の基本)等
事業の委託可能性	**×:委託できない(できる範囲は委託済)**
	既に施設管理において委託しており、中央図書館と一体で行っているブック便などの運転業務についても委託を実施済。また、他部署との連携や市民との協働等、委託ではできない事業が多く、経験を要する業務においては非効率である。すでに会計年度任用職員を最大限に活用している。

新たな財源の検討	**△:得られる可能性がある**
	現在導入している雑誌スポンサー制度をPRし、スポンサーの拡充により提供される雑誌数増の可能性がある。
受益者負担の適正さ	**○:適正である**
	図書館法第17条「公共図書館は、入場料その他図書館資料の利用にいかなる対価をも徴収してはならない」

■改善事項(ACTION)

事業の評価及び課題	・図書館は「市民に資料を提供する」基本的な役割を追求し、情報化・高齢化などの社会の変化に対応した機能の充実に努めている。・市民が快適に利用できる生涯学習の拠点施設として、暮らしに役立つ図書館活動を進めるとともに、『第2次富田林市子ども読書活動推進計画』に基づき団体貸出、学校図書館へ配本するブック便、学童クラブへの配本便、幼稚園つつじ号の運行、出前講座など子ども読書活動推進の取り組みも重点的に行った。引き続き『第3次富田林市子ども読書活動推進計画』に基づいて児童サービスに取り組む。・市役所各課(高齢介護課、健康づくり推進課、人権政策課、教育委員会等)と連携、各課の事業テーマに沿った資料の展示・貸出を行い、市民啓発に努めた。・利用者の多様性に対応した多角的な資料収集を実施。児童の読書への興味を喚起し読書習慣のきっかけのため、学習漫画の収集を引き続き実施。超高齢化・グローバル化においても多様な資料収集に努める。・新型コロナ感染症が5類に引き下げられたことにより、コロナ以前と同様のアウトリーチサービス(小学校へのオリエンテーションのための訪問及び図書館施設見学受入れ)を本格的に再開した・開館から約40年経過した館内の備品・書架の老朽化が著しく更新の時期である。ブックトラックの金属疲労、木製カウンターおよび書架の乾燥によるささくれなど経年劣化が目立ち、利用者の安全にかかわる危険性がある。

■予算要望の方向性(PLAN)

評価・改善事項等を踏まえた要望内容	金額ではなく、考え方を記載してください。
	【施設の環境整備】・滞在型の利用傾向や、昨今の猛暑対策としてマスコミなどで紹介されているクールシェア施設の役割を担う図書館であるためには、快適に過ごすための環境整備が必要。空調設定温度を遵守し節電に努めているが施設の構造上、吹き抜け、ガラス張りなどの条件により盛夏・厳冬期などは利用者の室温に対しての声が聞かれる。金剛公民館の光熱費も金剛図書館予算での執行となり、ダンスなど体を動かす活動内容により、熱中症を防止するために空調を使用する頻度が高いため、節電にも限度がある。適正な光熱費を確保されたい。 【施設整備・災害対策】・入館時の手指消毒はコロナ禍当時と変わらず高頻度で利用されているため、不特定多数が利用する施設として、安心して施設を利用できるよう引き続き対策を講じる必要がある。 ・1983年の開館以来使用している木製カウンターテーブルが老朽化により傷みが激しくささくれにより利用者、職員双方に受傷の恐れがある。また、利用者のカウンター内侵入で、個人情報漏洩の恐れがあるため侵入を防止する設えでのカウンターテーブル更新を希望する。さらに、執務中の職員の安全を考慮する必要がある。森林税の活用を検討し、担当課に打診している。 ・傘用ビニール袋を削減するため、本庁に設置されている「傘のしずくとり」を金剛公民館・図書館に設置する。当初傘立てで対応していたが、傘の取り違え、盗難などの市民対応が業務の妨げとなることが多々あり傘袋を設置した。しかしSDGsの取り組みや、傘袋の価格高騰など時代の要請に反していることから本庁と同様に「傘のしずくとり」を設置するべきであると考える。 ・ダウンライト以外の照明についてLED化が必要。照明器具の安定器が生産終了となっており、安定器が故障した照明器具の修繕ができていない。現在閲覧室で3カ所の蛍光灯が故障のため点灯していない。加えて、蛍光管の価格が高沸し、1本の価格が従来の3倍となっている。非常灯に至っては経年劣化により館内で数カ所しか点灯せず、冬季の夕方や、夜間開館中の非常時の避難対策ができていない。 ・外周レンガ敷き部分(玄関前・別館への通路・南側駐輪場)が老朽化と庭木の根の成長によりレンガが剥がれ、浮いている状態で、利用者がつまづくなど転倒の危険性が高く改修が急務である。 ・以上のことからLED化による故障個所の修繕により、光熱費の削減や、安全面を考慮した設備の改善が望まれる。 ・金剛図書館の施設は、大規模災害発生時の避難所に指定されているうえ、「障害者差別解消法」の観点からしても、スロープしかない状況で配慮に欠ける建築物となっている。 【資料の充実】 (中央図書館資料整備事業予算) ・高齢者サービス:加齢により、文字の本が読みづらくなっている方向けの大活字本や朗読CDなどの充実。 ・多文化サービス:外国人への、あるいは新学習指導要領施行に伴う英語教育への対応として外国語資料の充実。 ・児童サービス:(富田林市子ども読書活動推進計画をふまえて)学習漫画など資料の多様性とさらなる拡充が必要。 ・児童サービス:(富田林市子ども読書活動推進計画をふまえて)学校図書館、学級、学童クラブへの団体貸出による連携を維持するため、資料の充実が求められている。 ・YA(ヤングアダルト)サービス:読書離れの中高生に向けて、読書習慣のきっかけとなる若者層に魅力ある資料の充実。 ・電子書籍を導入することにより、児童生徒の学習支援、GIGAスクール構想で配布されたタブレットの活用による読書活動推進。あわせて、外出が困難な市民の在宅型の図書館利用に寄与する。